

食品中の放射性物質検査結果(令和元年度)

平成23年3月に、東日本大震災による福島第一原子力発電所事故がおき、食品中の放射性物質検査が必要となり平成23年7月から検査を行っています。

令和元年度に当所で行った食品の検査結果は表1～表5のとおりです。放射性セシウム(Cs)を検出したのは437検体中6検体(しいたけ1検体、たけのこ1検体、干し芋1検体、れんこん1検体、胚芽米2検体)ありましたが、基準値*を超えた検体はありませんでした。

※ 放射性Csの基準値(Cs-134とCs-137の合計)

乳児用食品:50Bq/kg、飲料水:10Bq/kg、牛乳:50Bq/kg、一般食品:100Bq/kg

表1 検体の種類及び数並びに放射性Cs検出検体数

検体の種類	説明	検査検体数	放射性Cs検出検体数
市内産農産物	横浜市内産の農産物	20	2
市内産水産物	横浜市内漁港水揚げの魚介類	60	0
市内産畜産物	横浜市内産の原乳	4	0
市内量販店流通食品	横浜市内で流通している食品	18	0
他県産流通食品	インターネット通信販売で購入した他県産の農産物など	10	2
小学校給食	米類及び牛乳	325	2
合計		437	6

表2 検体の内訳

検体の種類	品名([]内は検体数)
市内産農産物	かき[1]、かぶ[2]、キャベツ[1]、きゅうり[1]、こまつな[2]、米(玄米)[1]、さつまいも[1]、しいたけ(生)[1]、だいこん[1]、たけのこ[1]、トマト[1]、なす[1]、日本なし[1]、にんじん[1]、はくさい[1]、ばれいしょ[1]、ぶどう[1]、ほうれんそう[1]
市内産水産物	アカシタビラメ[1]、アジ(マアジ)[2]、イボダイ[3]、カワハギ[1]、クロダイ[1]、コノシロ[1]、シログチ[7]、スズキ[11]、タチウオ[15]、マコガレイ[2]、マサバ[2]、マダイ[7]、メイタガレイ[7]
市内産畜産物	原乳[4]
市内量販店流通食品	米(精米)[2]、米(玄米)[1]、清酒[2]、牛乳[3]、低脂肪牛乳[2]、発酵乳[1]、乳児用食品[5]、ミルク(粉)[1]、ミルク(液体)[1]
他県産流通食品	かき [1]、米(精米)[1]、清酒[1]、西洋なし(ラ・フランス) [1]、清涼飲料水(ブルーベリージュース)[1]、つぶ貝[1]、白桃果実缶詰[1]、干し芋[1]、みそ[1]、れんこん[1]
小学校給食	牛乳[164]、米(精米)[86]、胚芽米[36]、麦[39]

表3 市内産農産物の放射性Cs検出検体の検査結果

品名	検体数 (Cs検出数)	検出値(Bq/kg)		
		Cs-134	Cs-137	Cs合計
しいたけ(生)	1(1)	不検出(<0.792)	3.47	3.5
たけのこ	1(1)	不検出(<0.879)	2.11	2.1
合計	2(2)			

不検出の()内数値は、検出限界値

表4 他県産流通食品の放射性Cs検査結果

品名	産地	検体数 (Cs検出数)	検出値(Bq/kg)		
			Cs-134	Cs-137	Cs合計
かき	福島県	1(0)	不検出(<0.577)	不検出(<0.606)	不検出(<1.2)
米(精米)	宮城県	1(0)	不検出(<0.478)	不検出(<0.695)	不検出(<1.2)
清酒	宮城県	1(0)	不検出(<0.599)	不検出(<0.504)	不検出(<1.1)
ブルーベリージュース	山形県	1(0)	不検出(<0.583)	不検出(<0.599)	不検出(<1.2)
つぶ貝	福島県	1(0)	不検出(<0.635)	不検出(<0.876)	不検出(<1.5)
白桃果実缶詰	福島県	1(0)	不検出(<0.601)	不検出(<0.530)	不検出(<1.1)
干し芋	茨城県	1(1)	不検出(<0.723)	1.84	1.8
みそ	福島県	1(0)	不検出(<0.487)	不検出(<0.430)	不検出(<0.92)
ラ・フランス	山形県	1(0)	不検出(<0.564)	不検出(<0.582)	不検出(<1.1)
れんこん	茨城県	1(1)	不検出(<0.743)	2.20	2.2
合計		10(2)			

インターネット通信販売で購入
不検出の()内数値は、検出限界値

表5 小学校給食の放射性Cs検出検体の検査結果

品名	検体数 (Cs検出数)	検出値(Bq/kg)		
		Cs-134	Cs-137	Cs合計
胚芽米	36(2)	不検出(<0.670)	0.878	0.88
		不検出(<0.550)	1.16	1.2

不検出の()内数値は、検出限界値

【 理化学検査研究課 環境化学担当 】